夕刊
四月二十四日發行

文箱（春の隨筆）

印部すゑ子

明るい春の陽は部屋一杯をよんでゐると、かりそめにさしてゐる久しぶりにゆのかう：たものにも流れ出つくりした日曜日文箱の整づる紙の氣品の高さを感じ理をした。何處迄でも持ちる。ともすれば文學道と人麺つてゐるこの文箱は大和古代塗の大きな物で、中古文の寫しもあれば、寫經の拓本もあり紙には半紙もまじつてゐる。然し色紙の書きくづしの様なものでもしみ〲とした懷しさを覺え、みてゐる中に心がかんで來る。平凡な感傷のやうであるが自分にはこのとときはとても得がたいのである。それに面す時得る感興が異つてゆく事だ。一年に一回若しくは二年に一回位：かあせない時もある。が開ければ何か新らしい感激をあたへてくれる。新らしい感懷を湧かしてくれるのである。

箱とかばこぼるゝばかり白雲と咲きてありけりかしびの花は

春日野の馬酔木は遠く不知火のつくしに來たりあせずて來たり

轉任された恩師の許に花の小包をお送りした時に下すつたもので、八首ばかりの歌が白茶の和紙に金泥の線の入つた便箋に、古代めいた風雅な文字で墨も濃く認められてある。もうかいそ年も經つてゐるが、これによつて恩師の姿貌をお偲びする事も出來るし、古文書のやうなものお手紙の限りない思ひ出を秘めて胸を打つ。この恩師の文は無限の戒めをもつて胸を打つ。

夜の哀感

鶴田秀克

とぼけて黜る貨擦談 貴暗な隅につきおとり
汚れた床の中へ轉例し
私に喰ひ入つてくる
虱がゐる 天井の節穴が數を増すばかり
過去の幻影が穴から穴に亡失し
私は、かれた瞳 節を囓みつぶしら
冷たきの生に糸口をすぐる
明日につらなる皿をそそぐ
空白な幸福感は
みたされて夜の壺は戰慄してゐる

櫻花

加野美芳

春は花園　夏は海
秋は紅葉の　山を行く
契は深し　千代八千代
今江南の　花と散り
共にくらしの　よろこびに
變る護國の　人柱
春は胡蝶に　夏とんぼ
秋冴ゆ渡る　名月よ

海

椿てる子

○靖國の御祉高く打ち上ぐる花火よひゞけ外つ國までも
○意識し騷ぎて　る我なれど後に殘れる　この淋しさは
○丹前の姿となりて湯の宿、身もゆをも投げ出しにけり
○あこがれの夜の海港は喧騒、街の灯影をゆらせていたりき
○故郷の赤ゝ布を仕草につバスを止めんとする仕草にも

かたみの吾子の　すく〲と
父子二代の　花ぞ咲く
希望は高し　やすくにに
香るいさほし　吾がほまれ

4月25日
△近藤勇處刑（明治元）△僧侶の妻帶蓄髪を許す（明治五）

4月22日
△足利尊氏大擧西上す（建武三）△久留米絣の創始者井上でん逝く（明治二）△國道關門トンネル試掘坑貫通（昭和一四）

[illegible]

○
富を利用し得る人にして、初めて富めりといふべし　ホレース

講談　夜嵐お絹（52）

悟道軒圓玉
筒井直衛　繪
柳湯

黒澤玄達は一と息ついて『何うぞ春月院様、お聞き下さいませ。いつもお話し申した通り、私を押へ附けた酒井豊之助と云ふ侍は柔術は名人です、サア白状しろ〲と責め立てられましたが、茲ぞ大事と存じ私の姓名だけ告げて、全く深きッ子に、譯はない、金を取る爲めに或家へ忍び込んだところ逃げる時にそでを押へられ、御覧の通り片そでを失つた、と斯う申して金の代りに脇差を渡しましてやう〲助かりましたが、昨宵は惡日でございました』『それはとんだ事だつたネエ』『ひどい目に遭ひました』『時に八寶、何うしたらう』『それは紀伊國屋へ歸つたものと思ひます』『玄達さん、お前さんにしても今度の仕事は不圖來た

には春月院も玄達も苦又性質の良くない顔をした　角太郎は下駄が古くなると錢湯へ行く、それは新しい下駄を穿き替る爲　こんな事もありましたが皮肉です。
スルト春月院の不品行がつか大久保家に知れて百兩の涙金を添へてお暇が出、玆で春月院は黒澤玄達夫婦と共に小梅の別荘を引拂ひ淺草猿若町一丁目の知己の許に身を寄せ、切髪に入れ毛をして、久し振で島田に取上げ、杵屋と云ふ家號で本名のたきぬを名乗り再び巫覡を取る事にしたが美人の上に藝も出來てゐるそれに大久保侯の屋敷に居た事とて動作しとやか爲に『唐資れ』
黒澤玄達は市川邦の立派な家に住む本道外科の看板

と言つて春月院は苦笑し
内にお八重と角太郎は別莊にて結婚式を擧げ此の長い間春月院様の御厚情を頂きましたか、私も此の度妻を迎へました、それに就いては甚だ是は粗末な物でございますが、私の祝ひと一で御贈に入れますと角太郎の許よりの使が全水引の掛物を贈り來つた、此の中には何があるかと蓋を開つて見ると黒澤玄達が紀伊國屋の女中おしげにもぎ取られた片そでが入つてゐ

を揚げこの醫者、お話茲に一變して、向島で黒澤玄達を辛き目に合せた酒井豊之助です、屋敷は本所の原庭旗本ではあるが、微前取八十俵の湯者ですから俸米は五年も七年も先の物を札差に抵當にして金を借て遣ふ、兩親もなく兄弟もなく親父の代から勤めてゐる孫助と云ふ奉公人と只二人、然し武藝には精進してゐて文筆の素養もあり、殊には年もお若い風采も好い、神妙にして居れば立派な身分にもなれるが、酒にしたしみ博奕はする、金を握れば吉原で遊ぶ、それでは信用も無く又生活も困難　毎晩番場の柳湯と云ふ小錢湯にくが湯錢を拂つた事がない現代の方は御存じないが江戸時代の錢湯は甚た不規律

例の如く豊之助は柳湯に來た、十一月の事で大分寒い、湯を浴びて上つて來ると番台に居た主人が豊之助をヂロ〲見て居たが、『旦那今日は湯錢を頂きます』『何んだ湯錢とは何んな形をしたものだ』『御冗談仰しやつてはいけません湯錢を頂きます』『アー入浴料を出せと云ふか大分借りになつてゐるやうだナ』『ヘエ、此の正月の初湯から頂きません』『そんなに溜つたかナ、早く申せば支拂つたものを』『御身分があるお方ですから御遠慮はして居りました』『さうか何れ拂ふつかはす　暫く待てよ』『そいつ　旦那困ります、私共は道樂で錢湯をして居りません　皆さんからお湯錢を頂いてそれで妻子を養つて居ります、それには薪、炭きの物が高くなりまして』『明日は必ず持つてきてや、今は持合せかな』『、は明日お持下さいまし』『ヨシ、承知した』主人は酒井の出て行くのを見て泥棒のやうな奴だと云つた。

小兒科・内科
酒井醫院
入院隨時
平市南町（電五五番）
醫學博士　酒井保

廣告

酒トマヅイ
たでんの
榮ちゃん
平市田町花ノ里
電話三三番

謹告
四月二十五日靖國神社臨時大祭ニ付臨時休業仕候
石城銀行組合

建築木材ノ御用命ハ
木材、天上板、建具、ベニヤ板、木羽、便利瓦、建築木材一式
万 織田材木商店
福島縣平市　電話平四六〇番
製材工場　磐越東線赤井驛前（六作場二五）電話一三五番

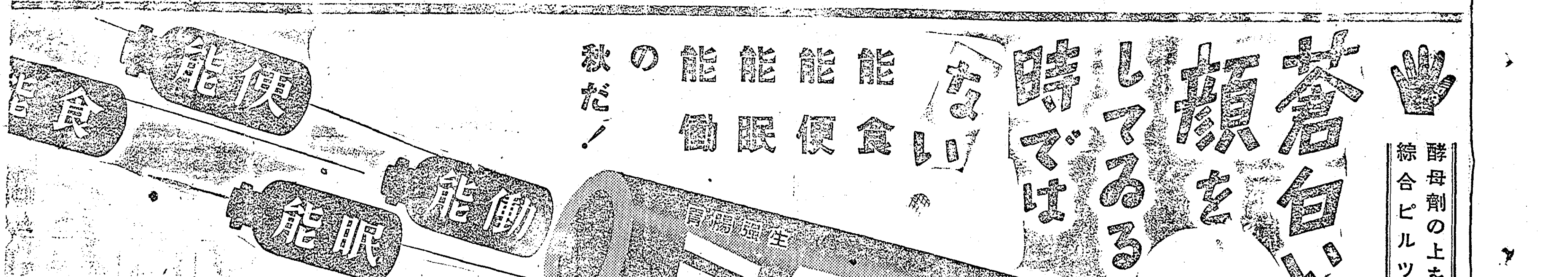
開業廣告
先般平市五丁目須賀醫院にて治療致して居ました點送電氣治療所が四月二十三日より左記の場所に開業致しました
◎病名不明の病者は御出下さい。點送電療にて判明致します
◎電療の特長は特にリウマチス神經痛、胃腸病、其他
（但シ開業披露ノ爲一十三日ヨリ二十九日マデハ治療ハ半額頂キマス）
平市田町十九番地　末廣向ヒ
榮花電療院

新古書畫大賣立會
二十四日　下見即賣　自午前九時至午後九時
二十五日　二十六日　競賣　自正十二時至午後十時
會場　平市公會堂
主催　新興美術社　東京市下谷區金杉二丁目八
眞筆保證附、價格表示、出品豐富

男女車掌募集（三名）
1、年齢十六才ヨリ十九才マデ
2、未經驗者ニテモ可
3、給料其他ハ委細面談
合名會社　平、四倉乘合自働車
平四丁目　電五九四

看護婦及ビ見習生募集
御希望ノ御方ハ左記へ御照會下サイ
横須賀市中里町
みかさ産婆看護婦會
會長　酒井たか
電話一三・二三

平みやげ
磐城平の名所地が一目でわかる
米屋の名物最中
風味自まんの米屋の最中
平驛前通り
米屋最中專門店



ピルツ劑
ミクローゼ！

1 星製藥が我が細菌學の泰斗・野口英世博士に師事して研究實に十八年の末、漸く「酵母劑にまさる」の確信を得て發賣したミクローゼは、能食・能便・能眠・能働の四能を十二分たらしめる性能を備へてゐる文字通りの強生劑である。
2 酵母の効果は、今や世に普く知られてゐるが、抵抗力の弱い酵母は、製劑過程に於て死滅し易い嫌ひがある。
3 野島博士はこの點に留意して、生存力の極めて强靭な日本固有のピルツ（有効菌）に着目されこれを生きたまゝの状態で製劑化すのに成功されたのである。
4 故に、ミクローゼの効力は、酵母劑のそれに比して强力、且つ持續的である。腸内で、ピルツがどし〲殖えて行くのだから有難い。
5 ミクローゼを服んで、先づ第一に分るのは、食慾である。次に快い便通である。安深な睡眠である。――いや、それだけではない。腸内では、食べた食物を聊かの無駄もなく榮養として吸收するために、ミクローゼは絶えず活動を續けてゐるのだ。

一ヶ月分 三六〇錠　一圓五十錢
東京・五反田
☆星製藥株式會社

愈よ縣の告示を出て 當面の重要事項協議
あす縣立平工業委員會

當局からの認可指令によつて愈よ本格の域に入つた縣立平工業學校の創設に就ては更に一昨二十二日付で縣の告示があり而も餘日が極めて切迫して居る爲これが準備に一日の遲延をも許されぬものあるので市では昨報の如く、明二十五日委員會を開き當面の重要問題を附議決定の上來月十五日の開校に事を欠かぬ樣手配するもの、觀られてゐる

縣の告示、教職員の任命、教室の配設、教材をはじめ機械器具什器の準備等學校の性質から觀てその必要事項も極めて廣範圍に亘り、開校期日の切迫と共に内外施設、陣容整備には非常な多忙を來すべく關係方面の心勞が如何に深刻なるものあるか、蓋し想ひ半ばに過ぐるものがある

銃後農業の重要性
來る卅日市公會堂で 助川代議士講演

石城郡農會では銃後産業の擴充强化上、地方農村中堅階の再認識に訴ふるの要ある重大なものあるに鑑み、中央名士の講演會開催等に關し過般來寄々計劃を進めて居たが。此程元農林參與官本縣選出助川啓四郎代議士の快諾を求め、來る三十日午前十時から市公會室に於て最近の農業事情に關する講演會を開く事になつた一市三十二ケ町村農會の各中堅どころが參會聽講三、四百に上るものと豫想されてゐる

青沼市長出席

青沼市長は郡山市役所で開かれた縣下四市長會議に出席、二十三日は會議終了後富久山工場を視察、同夜熱海一力で懇談、今廿四日は散會後アルミ工場と開成館を視察して明二十五日歸廳の筈

なほ前記會議には物資配給の圓滑を期する議案で盛り澤山だつたと

平市の提出議案左の如し

一、選擧人名簿確定期日一定方要望

一、市債の認可は特に重なるものを除き知事の認可に改むる樣要望

一、陪審法第十七條第一項に『市町村長は毎年陪審員資格者名簿を調査し』云々とあるを『市町村長は五年毎に陪審員資格者名簿を調製し』と改正方其の筋に要望せんとす

一、警防費補助增額方

一、國縣委任事務又は特殊統計調査費に對し相當金額交付方要望

一、縣費を以て市に体育指導員設置方要望

一、自動車鑑札調製方を縣へ依賴

勞務と資材不足で 道路修理不完全
美觀を害ふ最近の平市

近來の人手と資材不足は平進都市として少からずその毎に商業の進捗を阻み、各体裁を傷け乍ら遂に修理の方面の操業に少からぬ支障手筈とならず人をして均しを知せしめてゐるが、これく道械の念を抱かせてゐるも其の現れの一つが、昨今が、この儘に放置するに於國道幹線をはじめ市内各舗ては益々その破損面を增大裝道路の破損は、地方の躍し却つて復舊費の增大を來すので市内の美觀から云つても適當な方法の下に一日も早くその修理完成を望まれてゐる

關田高等科併置陳情

勿來町 關田尋常小學校の高等科併置案はさきの町會で決定したが未だ縣からの認可指令がなく來月一日からの開設が望み薄なので地元横田町議外三氏は二十六日出縣認可促進の陳情をなす、同高等科は一、二學年の二學級で既に收容準備も出來てゐると

相撲大當り
次ぎ興行地水戸へ

横綱双葉山一行四百名の東京大相撲は今二十四日商業學校と道路を隔てた空地に於て開場朝のうちうそら寒かつたが十時頃より絶好の角力日和となりファンの熱狂に終日大賑ひを見せ四時閉場次ぎ興行地水戸へ乗り込んだ

來月六日締切り
考査は十、十一兩日執行

縣立工業學校學則改正の告示による平工業學校今初年度の生徒（電氣科四十名、採鑛冶金科三十名）募集は來月六日願書を締切り、同十、十一の兩日に亘つて考査を行ふ事に決定したが、志望者は既報の如く過般來開校時期、受驗資格その他に關し各方面から地元平市役所等に多數の照會あつた事實から觀て恐らく發表早々定員以上の出願あるものと豫想されてゐる

實際的科目を網羅
一週卅八時間

敎課は左記の如く實際工業人に最も必須な科目のみで各學年を通じ敎授時間は一週三十八時間一日平均六時間二十分である

（電氣科）修身、公民、國語、地理及歷史、英語、圖書、体操、材料工作法、機械工學、電氣磁氣、同測定、電氣機械、發電送配電、應用電氣、製圖、實習

（採鑛冶金科）修身、公民、國語、地歴、數學、物理及化學、英語、圖書、体操、鑛物地質學、採鑛學、測量法、選鑛法、火藥學、治金學、機械學、土木工學、電氣工學、製圖實習 校外實習

大空に描く魅力 グライダー實演
愈よあす平商校庭で

若人達に大空への憧れを昂揚せんとする爽快な空のスポーツ、グライダー滑空實演は愈よ明二十五日午前十一時から平商業校庭で行はれるが使用機は既報河合式2K一型練習機 當日は本縣保原町出身二級滑空士北本俊雄君が實演、帝國飛行協會福島地方本部岩間主事補指導の下に約二時間實地訓練が行はれるはり切つたゴムロープからギユーンとハヂキ出て四月の薫風に飛翔する爽快さ、何せ地方初の試みだけに見物人も多いことだらう

協會では一般にこれが豫備智識を與へるために今二十四日午後七時から市公會堂で航空に關する映畫會を開

明二十九日靖國神社臨時大祭に付謹て休刊御諒承願ひます

平市は當然除外
依然獨歩の立場を變へず 縣との中間機關と無關係

郡制廢止後に於ける幾多の不便に鑑み以前の郡役所に代るべき縣と町村との間に介在せしむる中間機關の設置に關しては現内閣に於ても大に力强く蒸し返されて着々具体化の域に入り、其際は地方の中心地として平市に置かれること蓋し當然と觀られてゐるが、郡制當時に於ける觀念からすると市は郡と共に縣を直近の上級官廳とし、自治團体たるの地位は全然郡と對等に在り、今後郡役所類似の機關が設けらるる場合も平市は縣に對しては從來通り獨歩の立場を變ること無く新設機關から切り離さるるもの看取される

仙臺藩人會總會

市在住仙台藩人會では二十七日午後五時から市内谷口樓で總會を兼ね磐炭本社總務部長に榮轉の前礦業所長菅原萬治郎氏と會工務頭から平工校長に來任の立花幸吉氏の歡送迎會を催す、會費二圓五十錢

記載方指示
新税申告迫る

市では來る三十日が期限となつてゐる新税法分類所得營業純益並に綜合所得金額の申告につき期日が切迫しながら記載方不詳の向きが少くないので目下係吏員が市内各區に出張適當の場所に該當者を集めて種々指導說明してゐる

リレー式闇取引
一味五名檢擧さる
これだからものがたかいデス

ズック靴のリレー式闇取引が暴かれた──神谷村岸古物商鈴木久治(三七)は今月上旬東京市足立區千住高砂町榮女工業所こと榮女要藏方からズック靴三百七十足を買ひ入れ、うち二百七十足を取引先なる同村江尻一郎(三八)市内長橋町蛭田利光(四五)草野村泉崎豊田惣次郎(四五)大野村小田西山藤太(五三)の四名に三百九十一圓で賣り渡し、合計二十七圓餘の不當利益を得、更にこれを買ひ受けた前記四名もまた闇相場で一般需要家に賣られ江尻は四十八圓、蛭田三十二圓、豊田十五圓、西山は五圓七十錢の不當利得を占めたもので此程取調べが完了近く書類を送局される

前借詐欺捕る

石川郡石川町生れ無職中野直太郎(三二)はかねて馴染の市内南町料理業三島屋こと渡邊九郎兵衛方酌婦遠藤キヨ(二三)を連れ出し同人をおとりに今月上旬石川町カフエーエビスで七百圓の前借詐欺を働いて逃走中二十三日朝市内長橋町地内で平署菊地部長刑事、安部刑事に捕へられた

兩勇士の凱旋

新東亞建設の尊い礎石と化した川前村出身伍長熊谷忠一、三坂村上等兵大竹晴一兩勇士の遺骨は二十七日懐しの原隊へ爽の凱旋する

秋寒寄友
珠巖 小野務平

異域三年無暫安
幾回男武拔忠肝
早凉千里思征旅
況復明朝節露寒

平市慶弔録

△出生 南町六九仲井富男氏四男勉君
○婚姻 舊城路一二佐藤一男氏(二六)と岩手縣盛岡市新庄第六地割字尾崎前二一一安達之紅さん(二三)
▲死亡 田町一深谷新吉氏

雨よ降れ〳〵

去年から打ち續く雨不足に、地方でも井戸水の枯渇で飲料水にも事欠いてゐたところもあつた處へ數日來二、三回の降りに多少は潤されたもの〻まだ〳〵物足らず、苗代の播種期にこの分では田植時の水不足も懸念されるので、お百姓連はひとしく雨を望んでゐるけふ此の頃である

氣遣ふお百姓連

陣中を聽く
(751)

似た山容を眺めて 赤井の靈峰を懷ふ
飯野村出身 伊藤弘道君（通信）

一、

稚兒の小指のように、小さく木々の梢にくつついて光つてゐた芽が、もう風の吹く度に、軟かにひろがへる頃となつた

季節の變り目だけに氣紛れな天候であつたけれども、小晴れた日はなまぬるい日の光と野の香りとをまぜた風が吹いて暖かだ。私はよく日の晴明な時は戸外に出てぼんやりと、自然の風景に親しむことがあつた。恍惚として眺めつゝも、

大きな自然に向つてゐると心が澄んで、何かしらある力强いものをいつも感じさせられた。麥は白い穂をかついで風が渡る度に幾條かの光となつて流れるのが見える。菜の花畑はその美しい緑の中にさゝやかな分野を占めてくつきりと咲いてゐる。梅の花は恰度ランタンを灯した樣にうす紅の色に映えてゐるのがいかにも女性的な軟みを添へてゐる

遙か視界の果に山脈の肩があつた。『ふるさとの山に似た山だ』私はこう思ふのが常で、その山を見てゐると自分が赤井岳を仰いでゐる樣ななつかしさを感じる。雨の日も暖かで流石に寢心地の良い氣分を味ふことが出來て朝起きても。何んとなく新しい鬱勃たる力の湧き出づるのを感じた。夜、しと〳〵と雨が降て朝などからり晴れてゐるとなは潑溂とした氣分にさせられて、一日愉快なことでもある樣な豫感さへした。私は暇な時にはよく難民區等を歩いて、支那人の生活に親しむことをたのしみにした。

生活樣式の異る彼等の生活は珍らしいと云ふのは粗雜な云方かも知らんけれど兎に角興味を感じさせた。男でも女でも、殆んど毎日の樣に賭博をして遊んでゐるのが利己的で樂的な彼等の反面を物語るものだ。彼等は凡そ國家などと秩序立たことを考へて居まい。國家など云ふよりも、金を懐中持つて現實を享樂すれば良いのである。これは大人ばかりの世界ではない子供達も日本ならばキャマで子供が遊ぶ樣に、銅貨を投げつゝ一錢程度の賭博をしてゐる。支那は面白い國で、女はその程でもないが一人前に歩けるくらゐな子供が煙草を吸ふことを覺ゐてゐる。だから兵隊と見ると大人でも子供でも生活程度の低いものは煙草をねだる。

拈華微笑
（石）

告示から試驗迄二ケ月。道が電氣と採鑛の學校丈けに電光石火だ

□

胴顫ねの觀衆を尻目に堂々四股を踏む裸形の壯觀 眞個動く錦繪だ

□

臨時大祭の二日目。恰も好矢奉納角力

□

琴々と高鳴る櫓太鼓『武運長久』と聽えて男兒の鐵腸を沸かすの概

□

卯月末の天碧く霽れて松ケ岡の葉櫻に鮮新躍る

二十五日【小名濱測候所調】 滿潮 前七、一〇 後五、一〇 干潮 前一二、一五 後一一、一〇
二十六日 滿潮 前八、〇〇 後五、四五 干潮 前後 一二、五五

新暦四月二十五日 木曜 舊三月十八日 戊戌 友引 破 角宿

▲一白 午前は迷ひに入るも午後は晴々となるべし▲二黑 世話事仲裁事は成るべく他日にゆづるが吉し▲三碧 事物を整とんし一糸みだれざるやうに進むべし▲四綠 妄りに進まず程を守り自然を樂むべき日▲五黄 高座に安居すべき時にあらず自ら勞すべし▲六白 閑散の狀態にあれど中に幸運の兆しを見る▲七赤 口をつゝしみ人の氣を損せぬ樣にすれば吉し▲八白 事の大小に論なく投機事業は凡てつゝしむべし▲九紫 夢に成功を見れど實現することは難き日

新暦四月二十六日 金曜 舊三月十九日 己亥 先負 危 亢宿

▲一白 油斷せず周圍の事情を考へ進めば大發展す▲二黑 運氣初めはのび難けれど後は良く成るべし▲三碧 外事は兎角面白からず内に居り自重すべし▲四綠 一時順風に乗り出すも後はさか浪に逢ひ易し▲五黄 此まで苦心せし事も今日に至り成功すべし▲六白 次から次と變りを生じ不如意に陷り易き日▲七赤 植し木の追々根張り來る樣な運氣となる日▲八白 正しき道をふみ拔け目なくば思ふ所に達す▲九紫 急進は大過の基ひあせらず徐々と運ぶに吉し

土地建物 賣買貸借 仲立 東北商行 平驛前

夜間診療 胃腸性病 內科 胃腸病科 花柳病科 性病科 皮膚科 專門 松村胃腸性病科醫院（平市南町 電一〇七番）（見習看護婦募集）

外科一般 內臟外科 肛門病科 皮黴科 泌尿生殖器科（婦人科 性病科） 專門 （入院隨意） 白土醫院 平市字鍊田町 電二七九 看護婦及見習看護婦募集

產婦人科 井坂醫院 平市田町 電五五九 見習看護婦入用

吸入用酸素 純度99% 度量衡 モノサシ マス ハカリ 計量器 体温器 寒暖計 秤ノ取扱 修繕致シマス。 關內藥局 電話四〇番

お醬油は……ヤマフル 塩屋 山崎合名會社 福島縣平市 電話（營業部一〇番 本店二七番） 味噌醬油 たひら正宗 鰹節 食品料 明治生命磐城代理店 山崎與三郎